

# 平成28年度 年間論文賞選考結果について

年間論文賞審査委員会  
委員長 横田 勇

## 論文審査委員会委員

横田 勇	静岡県立大学 名誉教授
淡路 宣男	一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 顧問
杉田 吉男	一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 副会長
田所 正晴	麻布大学 共同研究員
河邊 安男	一般財団法人日本環境衛生センター 理事

論論文審査委員会では環境技術会誌(161号～164号)および、かながわ環境技術会誌(14号～15号)に会員が執筆した17編の論文について慎重に審査したところ、下記のとおり5編の論文を優秀論文として選考しました。

受賞される方には心からお祝いを申し上げますとともに、益々のご活躍を期待します。

環境技術会誌は、廃棄物処理施設の維持管理技術に関する情報を提供するという重要な使命を有しておりますので、施設建設から運営・維持管理等を通して得られた進歩・改善の成果を会員が共有できるよう環境技術会誌等に投稿されることを希望します。

## 記

### 1. 受賞論文

#### 1) 最優秀賞：川添 栄治郎 (株)トータル環境/ (一社) 全国都市粉じん飛散防止協会

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）適正処理その3 特論 もう一つの廃棄物の適正処理 都市型大規模清掃工場の解体（環境技術会誌161号）」

選考理由：著者は都市部の大規模清掃工場の解体について、施設全体を仮設テントで覆うことにより、粉じん飛散防止など周辺環境に配慮した工法を具体的に解説している。これらの内容は、都市部に廃棄物処理施設を立地する事業者や安全管理の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

#### 2) 優秀賞：池上 剛、柳 信雄、入江 貴弘 東京二十三区清掃一部事務組合

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）適正処理その3 第1編 ごみ焼却施設 第2章 安定稼働に向けた東京二十三区清掃一部事務組合の対応（環境技術会誌161号）」

選考理由：著者らは、都市ごみを安定的かつ効率的に処理するため、中間処理体制の確保、環境保全、災害対策の強化、定期点検補修計画や人材育成など安定稼働に向けた取り組みを具体的に解説している。このような取り組みは多くの自治体に参考になる事例である。

3) 優 秀 賞：西村 明博 クボタ環境サービス(株)

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）適正処理その4 第2編 し尿・汚泥再生処理施設 第4章 浄化槽汚泥混入比率の高い膜分離高負荷脱窒素処理方式における適正処理（環境技術会誌161号）」

選考理由：著者は、適正処理のための膜分離設備の管理の要点、施設の管理体制や地域との連携について分かりやすく解説している。これらの内容は廃棄物処理施設の運転管理の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

4) 功 労 賞：武田 隼一 太平洋セメント(株)

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）適正処理その3 特論 もう一つの廃棄物の適正処理 セメント業界における廃棄物の適正処理（環境技術会誌161号）」

選考理由：著者は、セメント製造工程別に受入れた廃棄物の適正処理への取り組みについて解説している。セメント業界は大量の廃棄物の受け入れ先であり、廃棄物の資源循環を考える上で貴重な報告である。

5) 奨 励 賞：今村 茂 三井造船環境エンジニアリング(株)

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）適正処理その3 第2編 し尿・汚泥再生処理施設 第3章 高負荷脱窒素処理方式における適正処理（環境技術会誌161号）」

選考理由：著者は、適正処理のための高負荷脱窒素処理設備の管理の要点、施設の管理体制や地域との連携について分かりやすく解説している。これらの内容は廃棄物処理施設の運転管理の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

以上